



2020.12.21 withコロナの時代を支える社会貢献セミナー

助成事業に見るコロナ禍での 緊急支援活動（中間報告）

助成事業のご報告サイト

<https://www.akaihane.or.jp/camp-covid19-houkoku/>

社会福祉法人 中央共同募金会



中央共同募金会は全国の都道府県共同募金会とともに「赤い羽根共同募金運動」を推進する団体です。



「赤い羽根共同募金」とは民間の地域福祉活動を支える「たすけあい」の募金

- 戦後間もない1947年に、市民主体の「たすけあい」運動として、戦争の打撃を受けた福祉施設を中心に資金支援することを目的に始まり、1951年に法制化。現在は「社会福祉法」に定義。
- 2019年度までの累計募金額は約1兆20億円
- 全国の市区町村・都道府県にネットワークがあり、集められた都道府県の中でその都道府県内の福祉のために使われる(約7割が募金された市区町村内の福祉活動に使われ、約3割が募金された都道府県域の福祉活動や災害時の被災者支援のための積立に使われる)

市区町村
共同募金委員会

- 地域住民により身近な募金実施機関として、都道府県共同募金会が、市区町村に設置。
- 多くは市区町村社会福祉協議会が事務局を担っている。

都道府県
共同募金会

- 共同募金の実施主体として社会福祉法に規定されている社会福祉法人。
- 共同募金の他に、共同募金運動期間以外の寄付金の受け入れや災害義援金の受付も行う。

中央共同募金会

- 47都道府県共同募金会の相互や他機関・団体との連絡調整を行う連合組織



病院で入院中の子どもたちを応援(福井県)



発達に偏りのある子どもたちの「生きる力」を育て(宮崎県)

- 毎年1回、10月1日から翌年3月31日まで、全国一斉に実施。



共同募金会は、草の根の福祉活動、制度の狭間の課題解決を目指す先駆的な活動、災害支援活動など、様々な民間福祉活動を応援しています



赤い羽根
福祉基金

赤い羽根福祉基金 (中央共同募金会 実施)

2020年度助成実績：17件、1億2,115万円

- ・ 制度の狭間の社会課題解決を目的とした先駆的、全国的な福祉活動を公募して助成。
- ・ 1団体あたりの助成上限額1,000万円×最大3年間まで助成

2021年度助成は2021年1月まで公募中

社会課題テーマ別の募金 寄付者の意向に応じた募金

(中央共同募金会単独または
都道府県共同募金会との協働実施)

- ・ 特定の課題に基づくテーマ別の募金と助成
- ・ 寄付者の意向に応じた助成



赤い羽根共同募金 (都道府県共同募金会 実施)

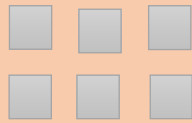
2019年度助成実績
約4万8千件、約147億円

- ・ 高齢者サロンやこども食堂などの草の根のボランティア活動から、福祉施設の改修まで、社会福祉法人、NPO、ボランティア団体などが実施する様々な民間福祉活動に対して助成
- ・ 1団体あたりの助成額は、年間数千円～数百万円

- ・「赤い羽根 新型コロナ感染下の福祉 活動応援全国キャンペーン」
- ・アサヒ飲料様からの寄付による全国のこども食堂支援
- ・盛和塾様からの寄付による児童養護施設等を退所した若者の自立支援
- ・松本敏夫様からの寄付による児童養護施設で生活する子どもたちへのオンライン学習環境の整備 など

災害関係

災害ボランティア・NPO活動サポート募金(支援金)

発災時  ←各災害ごと

災害時のボランティア・NPO活動を支援する募金

常設(発災への備え、防災)

都道府県域を対象に、発災に備えた基盤整備活動に対し、助成

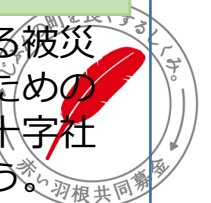


災害等準備金

災害ボランティアセンターの運営費用等、災害ボランティア活動を支援するための準備金(各都道府県の共同募金の3%を3年間積立)

災害義援金

被災都道府県行政が実施する被災者の見舞金、生活支援金のための募金。共同募金会が日本赤十字社とともに寄付受付窓口を担う。





コロナ禍での緊急支援募金と助成

寄付総額 約**13億1,000**万円

助成実績 **のべ1,900**団体+**425**人 **8億3,489**万円
(新旧キャンペーン、三菱財団共同助成、盛和塾含む
12/15現在)

赤い羽根 臨時休校中の子どもと家族を支えよう 緊急支援活動 (旧キャンペーン)

臨時休校に伴い、社会的孤立が懸念される子どもや保護者を緊急的に支援する活動を応援

- 募金活動開始 (3/4~)
- 第1回(3/19)、第2回助成決定 (3/26)
- 第3回助成決定 (4/30)

助成決定総額 **555**件、**4,467**万円 (第1~3回)



食材の配布



弁当の配達

↓ **5月からキャンペーンを拡大**

赤い羽根 新型コロナ感染下の福祉活動応援全国キャンペーン

子どもと家族の緊急支援助成 (各都道府県共募実施)

子どもと家族をめぐる生活課題を解決するための活動や、見守りを兼ねた配食、環境衛生に配慮した居場所づくりなど、緊急支援活動を地域の状況をふまえて応援

- 1団体あたり助成上限額：10万円~数十万円

47都道府県で約3億3,000万円の助成を実施中
助成決定**684**件 (11/30現在) さらに助成継続中

居場所を失った人への緊急活動応援助成 (中央共募実施)

虐待やネグレクト、家庭内暴力 (DV) などの状況により家にいられない、職や家を失うなど、コロナ禍の影響で居場所を失い、孤立する人々に対する相談支援、居場所やシェルターの提供、などの緊急支援活動を応援

- 1団体あたり助成上限額：300万円

第1回公募：**21**件、**3,953万1,000**円の助成決定

第2回公募：助成総額8,000万円の公募実施、現在審査中 (12月末決定)

フードバンク活動等応援助成 (中央共募実施)

困窮・孤立する家庭や人々を支援する施設・団体などへ、企業や地域から寄贈された食料を緊急的に届けるフードバンク、フードパントリーなどの活動を応援

- 1団体あたり助成上限額：100万円~300万円

第1回公募：**120**件、**1億333**万円の助成決定

第2回公募：**114**件、**9,509**万円の助成決定

第3回公募の実施について検討中

withコロナ 草の根活動応援助成 (中央共募実施)

草の根のボランティア団体・NPO等による、withコロナにおいて持続可能な活動を行うため、新たな活動を展開するためのツール・資材等の整備などを応援

- 1団体あたり助成額：10万円

第1回公募：**148**件、**1,480**万円の助成決定

第2回公募：**203**件、**2,030**万円の助成決定

第3回公募の実施について検討中

三菱財団×中央共同募金会 外国にルーツがある人々への支援活動応援助成

国内に在住し、コロナ禍の影響で生活に困窮する外国にルーツがある人々を支援する活動を応援

- 1団体あたり助成上限額：300万円 **55**件、**1億円**の助成決定

盛和塾 社会人定着応援プログラム

児童養護施設等の出身者で大学等に進学した学生に対し、1人あ

たり10万円を緊急助成 **425**人 **4,250**万円助成

10月1日から
赤い羽根共同募金運動展開中
ご協力をよろしくお願いいたします

あなたは一人じゃない。



支える人がいて、支えられる人がいる。

「助け合う」という言葉は、とても温かい言葉だと思います。

そこには「人」がいて、「人」がいる。けっして一人じゃない。一人にさせない。

「困ったときはお互いさま」の精神から始まった赤い羽根の募金活動。

世の中の、誰もがしんどい今こそ、そのチカラを発揮するときです。

意志あるお金、募金のチカラ。

スマホからも、
募金できます。



赤い羽根共同募金

<https://www.akaihane.or.jp/kifu/>





2021年度も、共同募金会は、新型コロナウイルス感染下の福祉活動を応援していきます。

- 新型コロナウイルスの影響が長期化する中、経済状況の悪化などにより、困窮する人、様々な生活上の困難に直面する人々、孤立する人々が増加することが危惧されている。
- また、こうした状況を起因とする自殺者の増加も大きな問題となっており、困難な状況にある人々に寄り添い、自殺を未然に防ぐことに社会の大きな関心が寄せられている。
- 共同募金会では、2021年度もこのコロナ禍において「誰一人取り残さない」社会を作るため、

いのちをつなぐ支援活動を支えること

をテーマに、様々な福祉活動を応援していくことを予定している。

引き続き、多くの皆様のご協力をよろしくお願い申し上げます。